## Oracle Database 12c: Advanced Administration (1Z0-063 Japanese Version)

- 1. Oracle Restartにはどの3つの記述が当てはまりますか?
  - A. Oracleコンポーネントの起動のみに使用できます。
  - B. ハードウェアまたはソフトウェアに障害が発生した後、さまざまなコンポーネントを自動的に再起動 しようとするように設定できます。
  - C. 定期的なチェック操作を実行して、Oracleコンポーネントの正常性を監視します。
  - D. 任意のコンポーネントを起動している間、自動的にすべての依存関係を適切な順序で開始しようとします。
  - E. データベースインスタンスが正常にシャットダウンされた場合に自動的にデータベースを再起動するように設定できます。

Answer(s): B,C,D

- 2. 完全なOracle Data Reductionを実装した後は、その数値のデフォルト値を変更します
  - A. 完全なデータの修正を使用する修正ポリシーを再度有効にします。
  - B. 完全なデータ修正を使用する修正ポリシーを再作成します。
  - C. オブジェクトにアクセスするセッションを、それらに定義されている編集ポリシーで再接続します。
  - D. 共有プールをフラッシュします。
  - E. データベースインスタンスを再起動します。

Answer(s): E

- 3. マルチテナントコンテナデータベース(CDB)の個々のプラッガブルデータベース(PDBプラン)のResource Managerプランについて、どちらのステートメントが当てはまりますか? (2つを選択してください)
  - A. プラッガブルデータベースに対してPDBプランが有効になっていない場合、そのPDBのすべてのセッションは同等のリソースシェアに処理されます。
  - B. PDBのリソース・プランを使用可能にするには、CDBリソース・プランを作成して使用可能にする必要があります。
  - C. プラッガブルデータベースに対してPDBプランが有効になっている場合、Resource ManagerはPDBレベルでリソース割り当てを使用し、CDBレベルで設定された制限を無視します。
  - D. プラッガブルデータベースに対してPDBプランが有効になっていない場合、PDBはCDBプランを使用します。
  - E. プラッガブルデータベース用にPDBプランが有効になっている場合、CDBプランのPDBに提供されたシェアとPDBプランのコンシューマグループに提供されたシェアに基づいて、リソースがコンシューマグループに割り当てられます。

## Answer(s): A,E

- 4. You execute the RMAN commands:
  - A. 2つのチャネルが割り当てられ、バックアップセットのコピーがCHANNEL 2で指定された場所に作成されます。
  - B. 2つのチャネルが割り当てられ、バックアップセットの2つのコピーが両方の場所で並行して取得されます。
  - C. 2つのチャネルが割り当てられ、指定された両方の宛先にバックアップセットのバックアップピースが作成されます。
  - D. デフォルトチャネルが割り当てられ、バックアップセットは1つの宛先にのみ作成されます。

## Answer(s): C

- **5.** ターゲットデータベースとリカバリカタログに接続するときに、データベースの1つを複製する必要があります。
  - A. 複製プロセスでは、バックアップセットまたはイメージコピーを作成できます。
  - B. ターゲットデータベースが開いている必要があります。
  - C. 複製プロセスは、イメージコピーを補助インスタンスにプッシュします。
  - D. 複製プロセスでは、既存のバックアップセットまたはイメージコピーを使用できます。
  - E. 複製プロセスは、バックアップセットを補助インスタンスにプッシュします。
  - F. ターゲットデータベースはマウント状態である必要があります。

Answer(s): B,E,F

- 6. フラッシュバック・データ・アーカイブについて正しい記述はどれですか? (3つ選択してください)
  - A. フラッシュバック・データ・アーカイブを使用可能にした表は、フラッシュバック・データ・アーカイブが最初に無効化または関連付け解除されない限り、削除できません。
  - B. フラッシュバック・データ・アーカイブにより、フラッシュバック問合せでスナップショットが古すぎます。
  - C. 表に対してフラッシュバック・データ・アーカイブを有効にするには、データベースに対してデフォルトのフラッシュバック・データ・アーカイブを作成することが必須です。
  - D. フラッシュバック・データ・アーカイブを使用するには、フラッシュバック・データ・アーカイブ表 領域に対して無制限の割当て制限を設定する必要があります。
  - E. 表のフラッシュバック・データ・アーカイブを有効にしている間、フラッシュバック・データ・アーカイブに名前が指定されていない場合は、デフォルトのフラッシュバック・データ・アーカイブを使用して有効になります。

Answer(s): A,C,E

7. データベースで実行されたRMANコマンドを調べます。
A. ログスイッチを実行します。
B. データファイル、制御ファイル、およびサーバパラメータファイルをバックアップします。
C. データベースが構造変更を受けるたびに、制御ファイルのみのバックアップが作成されます。
D. 既定でバイナリ圧縮を使用して圧縮バックアップセットを作成します。
E. 使用されたブロックだけがデータファイルにバックアップされます。
Answer(s): B,E
8. USER_DATA TABLESPACE句はどの2つの場所で表領域を作成しますか?
A. a PDB
B. a non-CDB
C. CDB\$ROOT
D. PDB\$SEED
E. an Application Root
Answer(s): A,B
9. どのパラメータを自動PGAメモリ管理を実装するためにどの値に設定する必要がありますか?
A. pga_aggregate_targetを0以外の値に設定します。
B. STATISTICS_LEVELをBASICに設定します。
C. sga_targetをゼロに設定します。



が破損しています。

- A. TEMP表領域を削除し、新しい一時ファイルを使用して表領域を再作成します。
- B. データベースインスタンスを再起動して、自動的に一時ファイルを作成します。
- C. TEMP表領域をオフラインにし、欠落している一時ファイルを削除して、新しい一時ファイルを作成します。
- D. 新しい一時ファイルを新しい名前でTEMP表領域に追加し、破損している一時ファイルを削除します。

Answer(s): B,C

- **13.** どの3つの要素がオプティマイザの実行計画の選択に影響しますか? (3つ選択してください)
  - A. 固定ベースライン
  - B. データベースインスタンスへの接続に使用される接続のタイプ
  - C. OPTIMIZER MODE初期化パラメータ
  - D. カーディナリティ推定
  - E. データ・ディクショナリのオブジェクト統計

Answer(s): C,D,E

- **14.** 高速リカバリ領域が構成されていないNOARCHIVELOGモードで実行されている本番データベースをアップグレードする予定です。
  - A. データベースのバックアップを取ります。
  - B. 保証された復元ポイントを作成します。
  - C. 高速リカバリ領域を構成します。

- D. ARCHIVELOGモードでデータベースを構成します。
- E. フラッシュバック保持ターゲットと高速リカバリ領域を構成します。
- F. 通常の復元ポイントを作成します。

Answer(s): C,D,E

- **15.** Recovery Managerは、データベース用のバックアップ・セット・バックアップを作成するように構成されています。 次のコマンドを発行して、データベースをバックアップします。
  - A. データファイルの使用ブロックのみがバックアップされます。
  - B. バックアップが完了すると、すべてのデータファイルがバックアップされ、古いバックアップが削除されます。
  - C. 少なくとも1回はバックアップされないアーカイブ・ログ・ファイルのみをバックアップします。
  - D. アーカイブされたすべてのログファイルがバックアップされ、バックアップされたログファイルが削除されます。
  - E. すべてのアーカイブREDOログ・ファイルとオンライン・ログ・ファイルがバックアップされ、バックアップが完了するとアーカイブ・ログ・ファイルが削除されます。

Answer(s): B,D

- 16. データベースインスタンスのパラメータを調べます。
  - A. 動的サンプリングおよび複数列統計が有効な場合、オプティマイザはカーディナリティ・フィードバックを監視しません。
  - B. オプティマイザが問合せを再最適化候補として識別すると、コレクタによって収集された統計がオプティマイザに送信されます。
  - C. オプティマイザは、カーディナリティ・フィードバックを使用して問合せを一度のみ最適化できます。

D. オプティマイザは、クエリの最初の実行後にカーディナリティフィードバックを監視することができます。

E. オプティマイザは、オプティマイザの見積もりと実行統計に大きな違いがある場合、SQL文のその後の実行中に自動的にプランを変更します。

Answer(s): B,D,E

- 17. データベースの1つでインスタンスエラーが発生しました。
  - A. 最新の増分チェックポイントに対応するポイントから
  - B. 成功した最新のトランザクションコミットに対応するポイントから
  - C. あらゆる種類の最新のチェックポイントに対応するポイントから
  - D. 最新のログ切り替えチェックポイントに対応するポイントから
  - E. 最新のログインスタンスチェックポイントに対応するポイントから

Answer(s): B

- 18. 次のコマンドを調べます。
  - A. すべてのデータファイルがありません。
  - B. 現在のオンラインREDOログファイルがありません。
  - C. すべての制御ファイルがありません。
  - D. 重要でない表領域に属するデータ・ファイルが欠落しています。
  - E. 制御ファイルのバックアップは、データベースのバックアップより古いです。

Answer(s): C,E

A. Enterprise Manager Cloud Control
B. Enterprise Manager Database Express
C. RMAN recovery catalog
D. RMAN Media Management Library
E. Oracle Secure Backup
Answer(s): A,C
20. データベースはARCHIVELOGモードで実行されています。 RMANを使用してイメージ・コピーを作成し、これらのコピーを6時間ごとに段階的に更新します。 定期的な保守作業の後、インスタンスを再始動しようとすると、EXAMPLE表スペースに属するデータ・ファイルの1つが失われたことを示すエラーとともにMOUNT状態で停止します。
A. 1, 2, 4, 6, 3
B. 2, 4, 5, 3, 6
C. 2, 7, 5, 3
D. 1, 2, 7, 5, 3, 6
E. 2, 6, 4, 5, 3
Answer(s): B

19. バックアップ情報を統合し、組織内で実行されている複数のデータベースのバックアップお

よびリカバリスクリプトを集中管理したいとします。